

令和7（2025）年度 入学者選抜要項

確 定 版

地域創生学部

- 地域創生学科
 - 地域文化コース
 - 地域産業コース（経営志向枠／応用情報志向枠）
 - 健康科学コース

生物資源科学部

- 地域資源開発学科
- 生命環境学科
 - 生命科学コース
 - 環境科学コース

保健福祉学部

- 保健福祉学科
 - 看護学コース
 - 理学療法学コース
 - 作業療法学コース
 - コミュニケーション障害学コース
 - 人間福祉学コース

県立広島大学

Prefectural University of Hiroshima



令和6（2024）年7月発行

目 次

1	県立広島大学の入学者選抜の特徴	1
2	令和7年度入学者選抜における主な変更点等	2
3	入学者選抜日程	5
4	入学定員及び募集人員	6
5	アドミッション・ポリシー（求める学生像）	7
6	一般選抜（前期日程・後期日程）	11
7	学校推薦型選抜	28
8	総合型選抜	41
9	社会人特別選抜	43
10	外国人留学生特別選抜	45
11	身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談	47
12	個別の入学資格審査	47
13	出願・入学手続	47
14	入試情報（成績）の提供・開示	47

【参考】

令和6年度県立広島大学入学者選抜結果

令和6年度県立広島大学 合格者得点状況

※ やむを得ない事情等により、この要項に記載している内容は変更になる場合があります。最新の情報は、各入学者選抜区分の学生募集要項並びに本学ホームページにより公表しますので、必ず、定期的な確認をしてください。

県立広島大学の授業料・奨学金について

入学料・授業料

	県内	県外
入学料	282,000 円	394,800 円
授業料	通年 535,800 円（半期 267,900 円）	

※生物資源科学部（庄原キャンパス）については、施設費（年額 15,600 円）が別途必要です。

※生物資源科学部地域資源開発学科では、アジア地域で 2 週間程度の海外農業研修を予定しており、別途参加費が必要になります（20 万円程度。実際の交通手段や状況に応じて金額は変動する場合があります。）

奨学金・授業料減免

国の高等教育の修学支援制度

国の高等教育の修学支援制度により、日本学生支援機構（以下「JASSO」という）の給付奨学金と合わせて、授業料及び入学料の減免が受けられます。住民税非課税世帯、それに準ずる世帯で一定の家計基準と学力基準などの要件を満たす日本人学部生が対象です。高校での予約採用、または大学入学後、年間 2 回（春季・秋季）の申し込み機会があります。保護者などの学費出資者の方と相談の上、高校または大学を通じて申し込みしてください。審査の結果、採用となった場合、支援が受けられます。

日本学生支援機構貸与型奨学金

JASSO の貸与型奨学金は、経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資を貸与する制度で、これまで多くの先輩たちが利用してきました。奨学金は、学生が自立して学ぶことを支援するために学生本人に貸与されます。奨学生が返還するお金は、次の世代の奨学金として使われ、先輩から後輩へとリレーされていくものです。このことを理解し、責任を持って有効かつ計画的に利用しましょう。

貸与奨学金の種別及び貸与月額

区分		貸与月額
第一種奨学金（無利子）	自宅通学者	20,000 円、30,000 円、45,000 円から選択
	自宅外通学者	20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円から選択
第二種奨学金（有利子）		20,000 円～120,000 円のうち、10,000 円単位で月額を選択
入学時特別増額貸与奨学金（有利子）※条件・基準あり		10 万円、20 万円、30 万円、40 万円、50 万円から選択

地方公共団体・公益財団法人などの奨学金制度

地方公共団体、公益財団法人などが奨学金を設けています。これらの団体から推薦依頼があったときは、その都度、各キャンパスの学生掲示板にてお知らせしています。

授業料減免

国の高等教育の修学支援制度の対象とならない留学生・大学院生・専攻科生、または不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生で、一定の家計基準と学力基準などの要件を満たす方は、授業料の減免を認める場合があります。採用となった場合、授業料の半額が減免されます。

※「国の高等教育の修学支援制度」とは異なる、本学独自の制度です。

※ 県立広島大学のホームページでも最新情報等をお知らせしています。
<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/life/5/5/42/>

1 県立広島大学の入学選抜の特徴

県立広島大学では、通常の個別学力検査等とあわせて、「学力の3要素」（1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性・協働性）などについてより多面的・総合的に評価するため、様々な入学選抜方法を導入しています。その中でも特徴的なものを説明します。

(1) 地域課題解決に向けた志向性の評価

本学では「課題探究型地域創生人材」の育成を目標としており、そのために必要な志向性を評価する選抜方法として次の評価制度を導入しています。

課題探究型地域創生人材とは・・・広島県に限らず全国、さらには海外も含め、自らが暮らし、活動してきた地域に目を向け、そこに生じている様々な分野の課題に関心を持ち、他者とも協働しながら主体的に課題探究を行い、その解決に向けて積極的に行動していこうとする熱意や意欲を持ち、行動できる人。

① 「主体性・協働性」の評価

- ア 「主体性・協働性」は、高等学校等における学びの履歴について、総合型選抜、学校推薦型選抜及び社会人特別選抜で、調査書等を中心として評価し、得点化を行います。
- イ 調査書における評価（記載）項目については、各学部・学科等の各選抜区分において設定することとし、具体的な内容を、本学ホームページ又は学生募集要項等において明示します。
- ウ 令和7年度入学選抜において、本学ではJAPAN e-Portfolioを利用しません。
- エ 令和7年度入学選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、総合型選抜及び学校推薦型選抜では、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、評価の方法や重み付け等に配慮し、諸活動や資格・検定試験等が中止・延期等となった場合でも、この間の個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや主体的な取組、本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。
- オ 令和7年度入学選抜において、調査書については、出席日数や特別活動の記録や、その他、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

② 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」の育成の観点から、すべての学部及びすべての選抜区分（ただし、外国人留学生特別選抜は除く）において実施します。以下に示すような取組の中から、自身が課題だと考えた点、解決したい・掘り下げてみたいと考えた内容について、今後、自身の大学での学びにどのようにつなげていきたいかを受験者が記載した「評価申請書（提出は任意）」に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により、評価します。

なお、取組の時期は問いません。

- ア 本学が公開する講座や高大接続事業等への参加（オンラインによる視聴等を含む）

【公開講座や高大接続事業等の例】

- ・ 高大連携公開講座（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 備北地区中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 地域基盤研究機構地域連携センター公開講座
- ・ 「県大へ行こうー授業公開ー」（本学の公開授業）
- ・ 模擬講義（オープンキャンパスや施設見学等の企画として本学において実施／高等学校において実施）
- イ 他大学が公開する講座や高大接続事業等（アに準ずるもの）への参加（オンラインによる視聴等を含む）
- ウ 「総合的な探究の時間」における取組
- エ 地域における取組等（ボランティア活動への参加や、部活動等において地域に関する活動等に取組んだ場合）
- オ その他「県立広島大学・地域への志向性」の取組と認められるもの（本学教員の著書や論文の読了、本学ホームページの閲覧等）

(2) 個別学力検査等における「総合問題」の出題

教科・科目に対する「知識・技能」を問うことに加えて、高等学校段階までに習得した「知識・技能」を活用（応用）する力をより重視する必要があるため、理解力・表現力、論理的思考力等を総合的にみる形式の問題を出題します。

※ 令和7年度入学選抜では、一般選抜（前期日程・後期日程）において出題します。（詳細は12ページを参照。）

<身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談>

本学では、身体等に障害のある入学志願者等の、受験上及び修学上の配慮について相談を受け付けています。

詳細は、ページ及び各入学選抜の学生募集要項や県立広島大学ホームページ（下記URL）を確認してください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html>

2 令和7年度入学者選抜における主な変更点等

令和7年度入学者選抜における、変更点は次のとおりです。

(1) 入学定員及び募集人員の変更等について

変更のある区分、学部等については次のとおりです。

① 一般選抜

					(単位：人)
学部	学科	コース	日程	令和6年度	令和7年度
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	前期	<u>36</u>	<u>32</u>
		地域産業コース		<u>17</u>	<u>24</u>
		経営志向枠			
		地域産業コース	後期	<u>15</u>	<u>19</u>
		応用情報志向枠			
		経過選択 地域文化コース 地域産業コース 経営志向枠 地域産業コース 応用情報志向枠		<u>27</u>	<u>16</u>
保健福祉学部	保健福祉学科	人間福祉学コース		<u>4</u>	<u>3</u>

② 学校推薦型選抜

					(単位：人)	
学部	学科	コース	募集区分	令和6年度	令和7年度	
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	県内 高等学校等	<u>16</u> (<u>一般枠 8</u> <u>異文化体験枠 8</u>)	<u>15</u>	※一般枠及び異文化体験枠の廃止
			全国 高等学校等	二	<u>5</u>	※開始
			県外 高等学校等	<u>4</u> (<u>一般枠 2</u> <u>異文化体験枠 2</u>)	二	※廃止
		健康科学コース	全国 高等学校等	二	<u>2</u>	※開始
生物資源科学部	地域資源開発学科		県内 高等学校等	<u>4</u>	<u>5</u>	
			県内専門 高等学校等	<u>6</u> (<u>農業 4</u> <u>商業 2</u> <u>工業 2</u>)	<u>4</u>	※農業枠及び商業・工業枠の廃止
			全国 高等学校等	<u>5</u>	<u>6</u>	
	生命環境学科	生命科学コース	県内 高等学校等	<u>6</u>	<u>7</u>	
			全国 高等学校等	<u>5</u>	<u>6</u>	
		環境科学コース	県内 高等学校等	<u>6</u>	<u>7</u>	
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	県内 高等学校等	<u>18</u>	<u>20</u>	
		理学療法学コース	県内 高等学校等	<u>9</u>	<u>11</u>	
		作業療法学コース	全国 高等学校等	二	<u>2</u>	※開始
		コミュニケーション障害学コース	全国 高等学校等	<u>2</u>	<u>4</u>	
		人間福祉学コース	全国 高等学校等	<u>2</u>	<u>3</u>	

③ 総合型選抜

学部	学科・コース	令和6年度
地域創生学部	地域創生学科・地域文化コース	2
生物資源科学部	地域資源開発学科	5

(単位：人)



令和7年度
10
9

※開始

④ 社会人特別選抜

学部	学科	コース	令和6年度
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	2
		地域産業コース 経営志向枠	4
		地域産業コース 応用情報志向枠	
		健康科学コース	2
生物資源科学部	地域資源開発学科		2
	生命環境学科	生命科学コース	2
		環境科学コース	2
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	2
		理学療法学コース	2
		作業療法学コース	2
		コミュニケーション 障害学コース	2
		人間福祉学コース	2

(単位：人)



令和7年度
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名
若干名

※開始

⑤ 帰国生徒特別選抜

学部	学科・コース	令和6年度
生物資源科学部	地域資源開発学科	2

(単位：人)



令和7年度
2

※廃止

(2) 一般選抜における主な変更点について

- ① 本学が利用する大学入学共通テストの利用教科において、「情報」を新たに追加します。科目配点等については、各学部・学科・コースにおける試験区分及び試験教科・科目等（p. 13～27）をご確認ください。
- ② 試験科目、配点等を次のとおり変更します。

学部	学科	コース	内容
地域創生学部	地域創生学科	地域産業コース 応用情報志向枠	○大学入学共通テストにおける「数学」の配点：各 100 点⇒各 150 点 ○大学入学共通テストにおける「地理歴史公民」、「理科」の配点：各 100 点⇒「地理歴史公民」及び「理科」から 1 科目 100 点 ○個別学力検査等の配点：300 点⇒200 点
		健康科学コース	○大学入学共通テストにおける「数学」の配点：200 点⇒100 点 ○大学入学共通テストにおける「外国語」の配点：200 点⇒100 点 ○個別学力検査等の配点：200 点⇒150 点
生物資源科学部	地域資源開発学科		○大学入学共通テストにおける「理科」の科目及び配点： 「物理、化学、生物、地学」から 1 科目 200 点⇒ ①『化学』、『生物』から 1 科目 150 点 ②『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうち ①で選択していない科目から 1 科目 150 点 ○個別学力検査等の配点：200 点⇒100 点
	生命環境学科	生命科学コース	○大学入学共通テストにおける「国語」の配点：200 点⇒100 点 ○大学入学共通テストにおける「理科」の配点：200 点⇒400 点 ○個別学力検査等の配点：300 点⇒200 点
		環境科学コース	
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	○大学入学共通テストにおける「数学」の配点：200 点⇒100 点
		理学療法学コース	○大学入学共通テストにおける「国語」の配点：200 点⇒150 点 ○大学入学共通テストにおける「数学」の科目及び配点： 「数学Ⅰ・数学A」100 点、「数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学Bから 1 科目」100 点⇒『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から 1 科目 150 点
		作業療法学コース	○大学入学共通テストにおける「数学」の科目及び配点： 「数学Ⅰ・数学A」100 点、「数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学Bから 1 科目」100 点⇒『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から 1 科目 100 点 ○大学入学共通テストにおける「理科」の科目： 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から 1 科目（網掛け部分を追加）
		コース選択	○大学入学共通テストにおける「数学」の科目及び配点： 「数学Ⅰ・数学A」100 点、「数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学Bから 1 科目」100 点⇒『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から 1 科目 100 点

③ 健康科学コースにおいて、大学入学共通テストにおける「外国語」の科目のうち「英語」については、リーディング及びリスニングの配点の換算について次のとおり変更します。

募集区分	令和6年度				令和7年度		
	リーディング	リスニング	合計		リーディング	リスニング	合計
一般選抜 (前期日程)	160 点満点	40 点満点	200 点満点	➡	80 点満点	20 点満点	100 点満点

④ 個別学力検査等を次のとおり変更します。

学部	学科	コース	日程	令和6年度	令和7年度
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	前期	<u>総合問題 A</u>	<u>総合問題※¹</u>
		地域産業コース 経営志向枠		<u>総合問題 B(ア)</u>	
		地域産業コース 応用情報志向枠		<u>総合問題 B</u>	
		健康科学コース	後期	<u>総合問題 A</u>	<u>面接※²</u>
生物資源科学部	生命環境学科	経過選択 地域文化コース 地域産業コース 経営志向枠 地域産業コース 応用情報志向枠		<u>総合問題 A</u>	
				<u>総合問題 B(ア)</u>	
				<u>総合問題 B(イ)</u>	
				<u>総合問題 B(ア)</u>	
	生命環境学科	経過選択 生命科学コース 環境科学コース	後期	<u>総合問題 A</u>	<u>総合問題※¹</u>
				<u>総合問題 B(ア)</u>	
保健福祉学部	保健福祉学科	人間福祉学コース	前期	<u>総合問題 A</u>	<u>総合問題※¹</u>
			後期	<u>総合問題 A</u>	

※¹ 総合問題の内容等については、「6 一般選抜（前期日程・後期日程）(5) 個別学力検査等における「総合問題」」(p. 12) をご確認ください。

※² 面接の内容等については、「各学部・学科・コースにおける試験区分及び試験教科・科目等 ■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース (2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準」(p. 16) をご確認ください。

(3) 学校推薦型選抜における主な変更点について

① 1 学校当たりの推薦人員を変更します。

学部	学科	コース	募集区分	令和6年度	令和7年度
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	県内 高等学校等	<u>一般枠 2 人まで</u> <u>異文化体験枠 2 人まで</u>	<u>3 人まで</u>
			全国 高等学校等	＝	<u>1 人まで</u>
			県外 高等学校等	<u>一般枠 1 人まで</u> <u>異文化体験枠 1 人まで</u>	＝
		地域産業コース 応用情報志向枠	全区分	<u>2 人まで</u>	<u>募集区分毎に 2 人 まで（ただし、4 人を上限とする）</u>
生物資源科学部	地域資源 開発学科		全区分	<u>募集区分毎に 2 人 まで（ただし、4 人を上限とする）</u>	<u>募集区分毎に 3 人 まで（ただし、6 人を上限とする）</u>
	生命環境学科	生命科学コース			
	生命環境学科	環境科学コース			
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	県内 高等学校等	<u>2 人まで</u>	<u>3 人まで</u>
		理学療法学コース	県内 高等学校等	<u>2 人まで</u>	<u>3 人まで</u>

② 地域創生学部地域創生学科健康科学コースの科目の内容を次のとおり変更します。

募集区分	科目	内容
全区分	面接	健康に関する課題及びその解決策についてのプレゼンテーション（4 分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。 (網掛け部分を追加)

③ 出願要件を次のとおり変更します。

学部	学科	コース	要件	令和6年度	令和7年度
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	調査書の全体の 学習成績の状況	<u>4.0 以上</u>	<u>3.8 以上</u>
		コミュニケーション障害学コース		<u>4.0 以上</u>	<u>3.5 以上</u>

(4) その他選抜における主な変更点について

■ 社会人特別選抜

①地域創生学部地域創生学科健康科学コースにおける出願要件及び配点を、次のとおり変更します。

- (1) 出願資格等に「TOEFL®又はTOEIC®（公開テスト）を令和5（2023）年4月1日以降に受験していること。」を追加します。
- (2) 配点にTOEFL®又はTOEIC®の得点を追加します。内容及び採点・評価の基準等については、「9 社会人特別選抜（4）試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準」（p.43）をご確認ください。

■ 外国人留学生特別選抜

(1) 出願要件を次のとおり変更します。

全学部（地域創生学部及び生物資源科学部）の出願資格等に、「TOEFL®又はTOEIC®（公開テスト）を令和5（2023）年4月1日以降に受験していること。」を追加します。

(2) 生物資源科学部における試験実施方法を次のとおり変更します。

学科	コース	令和6年度 実施方法
地域資源開発学科		オンライン
生命環境学科	生命科学コース	
	環境科学コース	



令和7年度 実施方法
対面

(3) 試験科目・配点等について次のとおり変更します。

学 部	学 科	コ ー ス	令和 6 年度			令和 7 年度		
			科目等	配 点		科目等	配 点	
地域創生 学部	地域創生 学科	地域文化コース	現代日本語 (読解・作文)	<u>100</u>	➡	二	二	※廃止
		地域産業コース 経営志向枠	二	二		<u>50</u>		
		地域産業コース 応用情報志向枠				<u>100</u>		
		健康科学コース						
生物資源 科学部	地域資源 開発学科		二	二		TOEFL® 又は TOEIC®	<u>50</u>	
	生命環境 学科	生命科学コース 環境科学コース						



※各学科・コースのTOEFL®又はTOEIC®の内容及び採点・評価の基準については、「10 外国人留学生特別選抜（4）試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準」（p.45～46）をご確認ください。

3 入学者選抜日程

■ 学部

区 分	募集要項公表	出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	10月中旬	1月27日(月)～ 2月5日(水)	2月25日(火)	3月8日(土)～ 3月15日(土)
	後期日程		3月12日(水)	3月20日(木)	3月21日(金)～ 3月27日(木)
学校推薦型選抜	9月上旬	11月1日(金)～ 11月8日(金)	11月21日(木)	12月13日(金)	12月14日(土)～ 12月23日(月)
				共通テストを課す場合 2月12日(水)	共通テストを課す場合 2月13日(木)～ 2月19日(水)
総合型選抜	7月下旬	9月2日(月)～ 9月9日(月)	第1次選抜結果通知日 9月24日(火) 第2次選抜期日 10月5日(土)	11月1日(金)	11月2日(土)～ 11月15日(金)
社 会 人	7月下旬	9月13日(金)～ 9月20日(金)	地域創生学部、生物資源科学部 10月5日(土) 保健福祉学部 10月7日(月)	11月1日(金)	11月2日(土)～ 11月15日(金)
外 国 人 留 学 生	10月下旬	12月23日(月)～ 1月8日(水)	1月24日(金)	2月5日(水)	2月6日(木)～ 2月21日(金)

※ 各選抜区分の詳細については、学生募集要項で公表します。必ず、確認の上、出願してください。

4 入学定員及び募集人員

学部	学 科・コース		入学 定員	募 集 人 員 の 内 訳(人)										
				一 般 選 抜				特 別 選 抜						
				前期日程		後期日程		学校推薦型選抜			総合型 選抜	社会人 特別 選抜	外国人 留学生 特別選抜	
				前期	コース 選択	後期	経過 選択	県内 高等学校等	県内専門 高等学校等	全国 高等学校等				
地域 創生 学部	地域 創生 学科	地域文化 コース	165	32	—	—	16	15	—	5	10	若干名	3	
		地域 産業 コース		経営 志向枠				24	16	2	4		若干名	3
				応用情報 志向枠				19	10	1	3		若干名	2
		健康科学 コース	35	20		—	—	9	2	2	—	若干名	2	
生物 資源 科学 学部	地域資源開発学科		40	14	—	—	—	5	4	6	9	若干名	2	
	学 生 生 命 環 境 科 境	生命科学 コース	100	23		—	20	7	2	6	—	若干名	2	
		環境科学 コース		23				7	2	6		若干名	2	
保健 福祉 学部	保健 福祉 学科	看護学 コース	190	31	6	6	—	20	1	—	—	若干名	—	
		理学療法学 コース		15		3		11	—	—		若干名		
		作業療法学 コース		15		3		9	—	2		若干名		
		コミュニケーション 障害学コース		15		3		7	—	4		若干名		
		人間福祉学 コース		21		3		11	1	3		若干名		
合 計			530	252	6	18	36	127	15	41	19		16	

(注)

- 一般選抜（前期日程）の保健福祉学部保健福祉学科と、一般選抜（後期日程）の地域創生学部地域創生学科（地域文化コース、地域産業コース経営志向枠及び地域産業コース応用情報志向枠）及び生物資源科学部生命環境学科においては、それぞれ、「コース選択」と「経過選択」の募集を行います。
- 「経営志向枠」…主として経営の専門性を身につけながら、多様な主体と協働していくことができる幅広い知識や資質も併せ持ち、地域産業の維持・発展・創造を志向することを希望する学生のための募集枠です。
「応用情報志向枠」…主として応用情報の専門性を身につけながら、多様な主体と協働していくことができる幅広い知識や資質等も併せ持ち、地域産業の維持・発展・創造を志向することを希望する学生のための募集枠です。
- 特別選抜における合格者が募集人員に満たなかった場合は、学科・コースごとに一般選抜（前期日程）の合格者で補充します。
- 一般選抜（前期日程・後期日程）の後、定員充足状況等により追加の選抜試験を実施する場合があります。

5 アドミッション・ポリシー（求める学生像）

本学は、基本理念や教育の特色を踏まえ、次のような学生を求めています。

学士課程全体のアドミッション・ポリシー

県立広島大学は、次に掲げる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を持ち、地域社会の発展に貢献したいと願う人を求めています。入学選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、決定します。

知識・技能	・ 高等学校等での学びを通じた基礎学力を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	・ 物事を様々な視点から捉え、柔軟に思考できる。 ・ 筋道立てて考え、その場にふさわしい表現を用いて伝えることができる。
主体性・協働性	・ 自らの能力の向上を目指し、主体的に学ぶことができる。 ・ 多様な他者を理解しようと努め、協力して物事を前進させることができる。

各学部・学科等のアドミッション・ポリシー

地域創生学部 地域創生学科	【知識・技能】 ◆ 高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、地域の文化、産業、健康について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ 様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人 【主体性・協働性】 ◆ 自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、文化、産業、健康の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人 ◆ 高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人
地域文化 コース	【知識・技能】 ◆ 他国や日本の文化及びコミュニケーションに強い関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能を身につけている人 ◆ 自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能を身につけている人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ 基礎的な学力を身につけた上で、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地の文化や社会・経済的事象を複数の視点から相対的に捉え、自身の考えを適切に表現できる能力を身につけている人 【主体性・協働性】 ◆ 基礎的な学力を基盤として、主体的に探究と考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人
地域産業 コース 経営志向枠	【知識・技能】 ◆ 高等学校で英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ 経営・会計ファイナンスの専門知識を身につけて、それを活かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある人 ◆ 経営・会計ファイナンスの専門知識を身につけて、それを活かした職業に就きたいと思っている人 【主体性・協働性】 ◆ 基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人 ◆ 企業や組織のしくみや活動を理解することに意欲や関心を持つ人
地域産業 コース 応用情報 志向枠	【知識・技能】 ◆ 高等学校で英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ 情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解に意欲や関心を持っている人 ◆ 応用情報学の専門知識とスキルを身につけ、それを活かして社会・地域へ貢献したい、または関連職業に就きたい人 ◆ 基本情報技術者などの資格を取得し、企業や社会で活躍したいと考えている人 【主体性・協働性】 ◆ 基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人 ◆ コンピュータの仕組み、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解や、データの分析・処理などによる新たな価値の創出に意欲や関心を持つ人
健康科学 コース	【知識・技能】 ◆ 高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ 論理的に思考し、様々な観点から多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人 ◆ 健康科学に関する自分の考えを、日本語でわかりやすく表現することができる人 【主体性・協働性】 ◆ 「生体（人体の仕組み）」「食品・栄養」及び「運動」と健康とのかかわりに興味を持ち、健康の維持・増進について主体的に地域社会に貢献する意欲がある人 ◆ 健康の維持・増進並びに疾病予防に関する課題に対して、他者と協働して解決する意欲がある人 【求める学生像】 ◆ 理科学実験が好きで探究心旺盛な人 ◆ 「生体（人体の仕組み）」と健康とのかかわりに興味を持っている人 ◆ 「食品・栄養」と健康とのかかわりに興味を持っている人 ◆ 「運動」と健康とのかかわりに興味を持っている人 ◆ 「健康」に関する専門性を身につけ、地域社会や地域の人々と協働したいと考えている人 ◆ 管理栄養士などの健康の維持・増進と疾病予防にかかわる仕事に強い熱意を持っている人 ◆ 栄養教諭などの児童・生徒への食育にかかわる仕事に強い熱意を持っている人

生物資源科学部	農・食・生命・環境のいずれかの分野に強い関心を持ち、生物生産技術の開発による安定した食料生産、食の機能性・安全性の評価や生命機能の解明・生物資源の開発を通じた健康の維持・促進、良好な生存環境の創出、地球環境の保全や修復などの領域において、課題解決に必要な実践的・先端的知識と技術を身に付け、将来、新しい社会的、文化的、産業的な価値を生み出し、持続可能な社会の構築に貢献できる「課題探究型地域創生人材」として活躍したいという熱意と行動力を持った人を求める。
地域資源開発学科	【知識・技能】 ◆「農」や「食」の分野において専門的かつ実践的な知識技能と科学的根拠に基づく情報発信力、マネジメント力を有し地域の課題解決に貢献したい人、特に実践的な技術者や研究者として活躍したいと考えている人 ◆未来につながる持続的農業システムや食品加工に強い関心を持ち、里山や各地域のもつ伝統的なもののよさを踏まえた科学的な専門的知識、技能を用いて新産業の創設や六次産業化により地域の発展に貢献する意欲がある人 ◆「農」や「食」の分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技術を身に付け、グローバルに活躍したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や実践的なフィールド研究を踏まえ、伝統的知識と科学的知識を合わせて自ら思考判断して地域の持つ課題を解決する人 ◆農業、食品加工、経営マネジメントへの ICT、AI、ロボットなど新しい技術の活用や発見を目指す知的探求をしつつ、修得したものをその表現力をもって課題解決策を発信して地域に還元し、地域貢献を考える意欲がある人 【主体性・協働性】 ◆柔軟な思考と実践力を身に付け、地域社会が抱える多様な課題に対し、他者と協働しながら自ら主体的に活動し、地域の課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
生命環境学	生命環境学科では、生命科学と環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人を求める。 ◆ライフサイエンスやバイオテクノロジー、持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野において、生命科学と環境科学に関する専門知識、新たな概念や技術を探究して活用するとともに、他者と協働しながら主体的に活動し、課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
生命科学コース	【知識・技能】 ◆「生命機能の解明」や「生物資源の開発」に興味をもち、ライフサイエンスやバイオテクノロジーに関する新しい知識と先端技術の習得に積極的な人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生命科学及び周辺分野の課題を見出し、専門知識・技術を生かして、それらの課題を分析して解決策を明らかにしようと努力する人 【主体性・協働性】 ◆生命科学分野の専門家を目指し、積極的に大学院に進学してより深い知識や高い技術を身につけようとする人 ◆医薬品・化粧品・食品・アグリバイオ・生殖科学など、人々の生存や繁栄に関わる分野の諸問題を、生命科学および関連分野の専門家と一緒に議論しながら解決したいと考えている人
環境科学コース	【知識・技能】 ◆教員や公務員として専門知識や技能を活かした人材育成、住民福祉や生活環境の向上を目指す人 ◆生命環境分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技能を身に付け、グローバルに活躍したい人 ◆環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や調査などを通じた研究によって自ら問題を解決し、新しい発見を目指す知的探求が好きな人 ◆柔軟な思考と実践力、科学を学ぶ者としての倫理観を身に付け、国際社会や地域が抱える多様な問題に対し果敢に立ち向かい解決しようとする人 【主体性・協働性】 ◆持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野に広い興味を持ち、自ら学ぶ意思と積極性を有している人 ◆循環型材料・技術の開発、環境の分析や評価、環境修復や良好な環境の創出に関わる仕事に就きたいと考えている人

保健福祉学部 保健福祉学科	地域が抱える保健・医療・福祉分野の諸問題に関心を持ち、主体的にその解決のための行動を起こすことによって持続可能な地域の発展に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目標とし、高等学校で学ぶ基礎的知識を身に付けた上で、入学後も生涯にわたり主体的に学び続ける意欲がある、次のような人材を求めます。 【知識・判断力・表現力】 ◆保健・医療・福祉分野についての専門知識を習得するための基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様性を尊重する視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
看護学 コース	【知識・技能】 ◆保健・医療・福祉分野に関わる専門的知識・技能の修得に必要な基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆人類愛と倫理観を備えた豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、創造的に考え行動することができる人 【主体性・協働性】 ◆生命への尊敬を持ち、医療や健康に対する高い関心を有している人 ◆主体的に学ぼうとする意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性とチームで活動するための協働性を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会に貢献する意欲を有している人
理学療法学 コース	【知識・技能】 ◆専門知識を習得するための基礎学力を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観・豊かな人間性・教養を持ち、自己表現することができる人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆論理的に思考し客観的に判断できる能力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
作業療法学 コース	【知識・技能】 ◆人の作業と健康の問題を理解し、問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観を持ち、多様な価値観を受け入れることができる柔軟性を有している人 ◆多面的に物事を捉え、自分の考えを的確に表現できる力を有している人 ◆作業療法に対する探究心を持ち、前向きに辛抱強く努力することができる力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有し、生涯にわたって作業療法の専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様性を尊重し、人の立場に立って物事を考えることができる想像力と共感性を有している人 ◆柔軟性と協調性を有し、チームで課題解決に向けて行動できるコミュニケーション力と実践力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人
コミュニケーション 障害学コース	【知識・技能】 ◆コミュニケーション障害学とその周辺分野について専門的に学ぶために必要な、未知なことの学修に必要な基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆コミュニケーション障害及び摂食嚥下機能とその障害について主体的に学ぼうとする強い意欲を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆自身とは異なる立場（年齢、地域性、文化的背景など）を持つ人々に係わった経験があり、他者の立場や意見を尊重しながら、積極的に・意欲的にコミュニケーションを取ることができる人

	人間福祉学 コース	【知識・技能】 ◆人が社会生活を営む上で生じる様々な課題の解決に必要な専門知識や技術を習得するための基礎学力・理解力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームワークに必要なコミュニケーション能力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生活問題や社会問題への関心、科学的思考力や探求心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を基盤とした、誠実さを有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応するための、多面的かつ論理的な理解力、判断力、表現力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自己形成に向けて、主体的に学び取り組もうとする学修意欲を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人
	コース 選択制	【知識・技能】 ◆保健・医療・福祉分野についての専門知識を幅広く習得するための高い基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆保健・医療・福祉分野の様々な分野にわたって強い興味と関心を有している人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆保健・医療・福祉の幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぼうとする高い学修意欲を有している人 ◆多様性を尊重する視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人

詳細については、「県立広島大学の3つの方針（ポリシー）」（本学ホームページ）で確認してください。

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科・コースごとに
 本学が指定する教科・科目をすべて受験した者としてします。

出願にあたっては、令和7年度一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項を必ず確認してください。

- ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又は令和7年3月31日までにこれを卒業する見込みである者
 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月31日までにこれを修了する見込みである者
 ウ 学校教育法施行規則第150条の規定(注)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は
 令和7年3月31日までにこれに該当する見込みである者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号(大学による個別の入学資格審査)による出願を希望する者は、本学に入学資格認定申請を行い、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要がありますので、本部事務部入試・広報課(082-251-9540)まで連絡してください。

(2) 募集方法

本学は、各学部とも分離・分割方式により「前期日程」及び「後期日程」に分けて募集し、日程ごとに合格者を決定します。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して行います。

なお、一般選抜（前期日程・後期日程）においては、2段階選抜は実施しません。

(4) 大学入学共通テストの利用教科・科目

ア 各学部・学科等の「大学入学共通テスト試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点」欄を参照してください。

なお、本学は、大学入試センター試験並びに大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

イ 各教科・科目の取扱

- ① 国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）、情報
 各教科・科目の成績を、各学部・学科等で利用する配点に換算します。また、英語以外の外国語を選択した場合は、
 筆記（200点満点）の成績を、各学部・学科等で利用する配点に換算します。
- ② 外国語（英語）
 ・リーディング及びリスニングを、外国語（英語）を利用する学部・学科等の全受験者に、出願要件として課します。
 ・英語の得点については、リーディング（100点満点）、リスニング（100点満点）の合計点（200点満点）を、下記の
 表のとおり取り扱うこととし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。

募集区分 学部・学科等		リーディング	リスニング	合計
一般選抜（前期日程） 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース	経営志向枠	80点満点	20点満点	100点満点
	応用情報志向枠	160点満点	40点満点	200点満点
一般選抜（前期日程） 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース		80点満点	20点満点	100点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） 生物資源科学部		160点満点	40点満点	200点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） その他の区分、学部・学科等		100点満点	100点満点	200点満点

* 重度難聴者等でリスニングを免除された場合は、リーディング（100点満点）の得点を英語の得点とし、
 各学部・学科等が定めている配点に換算します。

- ウ 「数学」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、各学部・学科等が指定した科目のうち、
 最高得点の科目の得点を採用します。
- エ 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用
 します。
- オ 「理科」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します

(5) 個別学力検査等における「総合問題」

学部	学科	コース	日程	試験時間	内容等
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	前期	100分	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。
		地域産業コース 経営志向枠			
		地域産業コース 応用情報志向枠			
		経過選択 地域文化コース 地域産業コース 経営志向枠 地域産業コース 応用情報志向枠	後期		
生物資源科学部	地域資源開発学科		前期		
	生命環境学科	生命科学コース			
		環境科学コース			
		経過選択 生命科学コース 環境科学コース	後期		
保健福祉学部	保健福祉学科	人間福祉学コース	前期		
			後期		

※ 各問題の点数（100点）を、各学部・学科等が定めている配点に換算します。

(6) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から、これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は1ページを確認してください。

(7) 個別学力検査等の試験場

学部・学科		試験場
地域創生学部	地域創生学科	県立広島大学広島キャンパス
生物資源科学部	地域資源開発学科	県立広島大学庄原キャンパス
	生命環境学科	県立広島大学庄原キャンパス
		広島市試験場（場所は学生募集要項で指定します。）
保健福祉学部	保健福祉学科	県立広島大学三原キャンパス

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日 程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (32)	大学入学 共通テスト 4教科4科目	国 語	『国語』	200	700	900
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	200		
		数 学 理 科 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」、「理科」、「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①、②～③のパターン及び④）を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」において、その得点

ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース経営志向枠

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (24)	大学入学 共通テスト 5教科5科目	国 語	『国語』	100	500	800
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	100		
		理 科 情 報	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		300	300	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「理科」、「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①～②のパターン及び③)を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

① 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点

② 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

③ 「情報」において、その得点

ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
80点満点	20点満点	100点満点

エ 「数学」において、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、最高得点の科目の得点を採用します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース応用情報志向枠

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (19)	大学入学 共通テスト 5教科6科目	国 語	『国語』	200	900	1,100
		地理歴史 公 民 理 科	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、 『生物』、『地学』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	150		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	150		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』

『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」、「理科」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①及び②～③のパターン)を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「地理歴史」、「公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160点満点	40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書(提出は任意)** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (20)	大学入学 共通テスト 5教科6科目	国 語	『国語』	100	600	750
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	100		
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』 から1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「地学基礎」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	200		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	100		
	個別学力検査等	面接		150	150	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①及び②）を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

①「数学」において、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、最高得点の科目の得点

②「情報」において、その得点

ウ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」（100点）及び「リスニング」（100点）の得点を次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
80点満点	20点満点	100点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
面接	地域課題に対する関心・探究意欲、高校生活、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、個別学力検査、大学入学共通テストの理科の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 <<経過選択>>

(地域文化コース、地域産業コース経営志向枠、地域産業コース応用情報志向枠共通)

前期日程のコース別募集とは異なり、後期日程では、地域創生学部地域創生学科（地域文化コース、地域産業コース経営志向枠及び地域産業コース応用情報志向枠）の選抜を一括して行います。入学段階でコース（専門）を決めてしまうのではなく、大学入学後、幅広い教養や専門の基礎などに触れながら、学生一人ひとりが抱いた興味や関心、将来像などに基づいて、学びたいコース（専門）を主体的に選択する経過選択制を導入しています。なお、各コース（専門）には定員が設けてあり、学生本人の希望と入学後の成績などを考慮して、地域文化コース、地域産業コース経営志向枠、地域産業コース応用情報志向枠のいずれかのコース（専門）に2年次から所属します。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
後期 (16)	大学入学 共通テスト 【3教科4科目 又は4教科4科目】	国 語	『国語』	100	400	550
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公 共』から1科目	(100)		
		理 科 報 情 報	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』 から2科目	(100)		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	(100)		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	(100)		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』か ら1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		150	150	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』

『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

イ 「地理歴史」、「公民」、「理科」、「情報」、「数学」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①、②～③のパターン及び④並びに⑤）を比較して、得点の高い順に2科目の得点を採用します。

- ① 「地理歴史」、「公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」においては、その得点
- ⑤ 「数学」においては、その得点

ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

エ 「3教科4科目」となるのは、「数学」において2科目を受験している場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部 地域資源開発学科

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (14)	大学入学 共通テスト 【4教科6科目】	数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	100	800	900
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	①『化学』、『生物』 から1科目	150		
			②『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうち ①で選択していない科目から1科目	150		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	総合問題		100	100	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅰ』、
『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。(例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択)

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (23)	大学入学 共通テスト 【6教科8科目】	国 語	『国語』	100	1,050	1,250
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	100		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目	400		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	50		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』

『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160点満点	40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書(提出は任意)**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (23)	大学入学 共通テスト 【6教科8科目】	国 語	『国語』	100	1,050	1,250
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	100		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目	400		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	50		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』

『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書(提出は任意)** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 《経過選択》（生命科学コース、環境科学コース共通）

前期日程のコース別募集とは異なり、後期日程では、生物資源科学部生命環境学科（生命科学コース及び環境科学コース）の選抜を一括して行います。入学の時点でコース（専門）を決めてしまうのではなく、大学入学後、幅広い教養や専門の基礎などに触れながら、学生一人ひとりが抱いた興味や関心、将来像などに基づいて、学びたいコースを主体的に選択する経過選択制を導入しています。なお、各コースには定員が設けてあり、学生本人の希望と入学後の成績などを考慮して、どちらかのコースに2年次から所属します。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
後期 (20)	大学入学 共通テスト 【6教科8科目】	国 語	『国語』	100	1,050	1,250
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	100		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2科目	400		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	50		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』
『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

- ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」（100点）及び「リスニング」（100点）を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160点満点	40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加 points します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加 points の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (31)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1 科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』 から 1 科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から 1 科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (6)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1 科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』 から 1 科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から 1 科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学Ⅲ』、『旧数学Ⅱ』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」においては、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、いずれか高い方の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

① 1科目のみを受験している場合、その得点

② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動などについて質問します。さらに、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (15)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	150	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』から1科目	150		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	150	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』から1科目	150		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅲ・旧数学Ⅳ』、『旧数学Ⅴ』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」においては、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、いずれか高い方の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

① 1科目のみを受験している場合、その得点

② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向や高校生活における活動、リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに、理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え、チームで活動できる人材として望まれる態度、表現力、判断力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。
合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (15)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」においては、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、いずれか高い方の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

① 1科目のみを受験している場合、その得点

② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動などについて質問します。さらに、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加 points します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加 points の合計点で合否を判定します。
合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。
ただし、面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (15)	大学入学 共通テスト 【5教科5科目】	国 語	『国語』	200	700	900
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1科目	100		
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』 から 1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	500	600
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『情報Ⅰ』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	面接		100	100	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』に代えて『旧数学Ⅰ・旧数学A』

『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」「情報」において、指定した科目のうち、最も高得点となる教科の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

① 1科目のみを受験している場合、その得点

② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、言語聴覚士についての理解、高校生活における活動などについて質問します。さらに、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、大学入学共通テストの得点が高い順に合格とします。ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (21)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	600	1,000
		地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	200		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	400	
		面接		200		
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	600	1,000
		地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	200		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	400	
		面接		200		

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「情報」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①、②、③～④のパターン及び⑤)を比較して最高得点となる教科の得点を採用し、表に示した点数に換算します。

- ① 「地理歴史」、「公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ③ 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ④ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ⑤ 「情報」においては、その得点。

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

科目	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。
面接	志望理由書とあわせて、福祉に対する興味、学修意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書(提出は任意)**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。
合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、国語、選択した科目の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 《コース選択》（保健福祉学部 保健福祉学科 共通）

前期日程に「コース選択枠」を設けます。保健福祉学部保健福祉学科に入学後、大学での学びを経験しながら各自の興味や関心に基づいてコースを選択したいという学生を受け入れる募集枠です。本枠の学生は、1年次前期期間中に教養科目や専門基礎科目を履修しながら希望コースを決定し、1年次後期から自ら選択したコースに所属して専門の学びを深めていきます。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (6)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	200	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	100		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

【経過措置】旧教育課程履修者は、次のとおり選択することができます。

『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』に代えて、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』

『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』に代えて、『旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』

『情報Ⅰ』に代えて、『旧情報』

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ「数学」においては、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、いずれか高い方の得点を採用します。

ウ「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

①1科目のみを受験している場合、その得点

②2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

エ「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し、表に示した点数に換算します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本学科で学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動などについて質問します。さらに、理解力、判断力、論理的思考力、本学科が育成する分野への適性などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし、面接の得点、又は総得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

7 学校推薦型選抜

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

各学部・学科・コースごとに定めるすべての要件を満たす者としてします。

出願にあたっては、令和7年度学校推薦型選抜学生募集要項を必ず確認してください。

(2) 選抜方法

各学部・学科・コースごとに定める試験科目及び書類審査等の結果を総合して行います。

原則、令和7年度大学入学共通テストの受験は免除とします。

ただし、地域創生学部地域創生学科健康科学コースについては、合否判定に利用するため、下記の表に指定する教科・科目の受験が必要です。

■ 地域創生学部地域創生学科健康科学コース＜合否判定に利用します＞

募集区分	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目等
県内高等学校等推薦	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目
県内専門高等学校等推薦		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）
全国高等学校等推薦		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目

※ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

(3) 「主体性・協働性」の評価

学校推薦型選抜では、「主体性・協働性」は、高等学校等における学びの履歴について、調査書を中心として評価することとし、得点化を行います。詳細は1ページを確認してください。

(4) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から、これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した、評価申請書（提出は任意）に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は1ページを確認してください。

(5) 個別学力検査等の試験場

学 部	試 験 場
地 域 創 生 学 部	県立広島大学広島キャンパス
生 物 資 源 科 学 部	県立広島大学庄原キャンパス
保 健 福 祉 学 部	県立広島大学三原キャンパス

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和7年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の1又は2のいずれかに該当する者で、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。
 - 1 高等学校等の普通科若しくは外国語に関する学科若しくは国際関係に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
 - 2 高等学校等の総合学科若しくは理数に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（15）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者のうち、上記①に該当する者で、次に定める要件をすべて満たす者であること。 ② 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）
全国高等学校等推薦（5）	広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者のうち、上記①に該当する者で、次に定める要件をすべて満たす者であること。 ② 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1 学校当たり 3 人まで
- ② 全国高等学校等推薦 1 学校当たり 1 人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	140	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。	
	学修計画書に関する面接	60	おもに出願時に提出された学修計画書（A4判2枚）に基づいて、地域文化コースで学ぶことに対する意欲や目的意識等について質問し、応答の内容・態度、目的意識の高さなどを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び学修計画書に関する面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、「小論文」の得点の高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース経営志向枠

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (16)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
経営 志向枠	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	80	経営を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活及び日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース応用情報志向枠

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分 (定員)	要 件
県内高等学校等推薦 (10)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 (注) 3 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者 4 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者 (注) (注) ただし、上記2又は4に該当する者にあつては、「工業技術基礎」、「工業数理基礎」及び「情報技術基礎」のうち2科目以上履修している者に限る。
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。)

(5) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり2人まで(ただし、4人を上限とする。)

(6) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
応用情報 志向枠	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で応用情報学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	80	応用情報を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活及び日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書(提出は任意)**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 対象資格の取得
対象資格(※)の取得者には最大20点の範囲で加点を行います。ただし、高等学校在学中に取得した資格が対象で、複数の実績がある場合は、最も得点の高い値を採用します。
※ 対象資格及び得点
① 全商情報処理検定 ビジネス情報部門1級とプログラミング部門1級の両部門合格(全国商業高等学校協会主催) 8点
② 全工情報技術検定1級(全国工業高等学校長協会主催) 8点
③ 情報処理技術者試験(情報処理推進機構主催)
ITパスポート試験 10点、 基本情報技術者試験 15点、 応用情報技術者試験 20点

(7) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和7年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（9）	広島県内の高等学校等の普通科、国際に関する学科、理数に関する学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）
 ⑤ 令和7年度大学入学共通テストに出願し、理科を受験する者であること。（下記の表を参照）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人
 ② 県内専門高等学校推薦 1学校の各学科から1人
 ③ 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
県内 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
県内専門 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	160	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）（100点を160点に換算）	
	面 接	240	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
全国 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
募集区分 共通	調 査 書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	
			評価基準又は高い評価となる例	
			「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」	
		いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。		
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

※ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

※ 面接におけるプレゼンテーションの詳細については、学生募集要項にて公表予定です。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
面接及び大学入学共通テストの得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 生物資源科学部 地域資源開発学科

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（5）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（4）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、工業に関する学科若しくは商業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目、工業に関する教科・科目若しくは商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部及び転学科は、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共 通	小 論 文	100	現代社会や自然科学、農業や食品等に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面 接	100	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、**提出書類（該当者は提出）** と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（7）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共 通	小 論 文	100	現代社会や自然科学、生命科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面 接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

- 加点対象
- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
 - 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、**提出書類（該当者は提出）** と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（7）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、環境科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。
	面接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	調査書等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
			調査書での該当する記載欄
			評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」 「5. 総合的な探究の時間の記録」 「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」
			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
			※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (20)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成21年文部省告示第34号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成21年文部省告示第37号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者であること。
③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり3人まで
② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	看護学分野に対する興味・関心・意欲、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断して、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合是不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (11)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1学校当たり3人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
県内 高等学校等 推薦	小 論 文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	100	理学療法分野および地域課題の基本事項、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、理学療法士としてチームで活動できる人材として望まれる態度、協調性、思考力などを総合的に判断して、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (7)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向及び言語聴覚士についての理解、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
			※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。	

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (11)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	広島県内の高等学校等の福祉に関する学科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人
 ③ 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	社会福祉に関連する地域課題探究への意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、論理的思考力、表現力、理解力などを総合的に判断して、点数化することで評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。 評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。

8 総合型選抜

(1) 実施学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	コース	募集人員
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	10
生物資源科学部	地域資源開発学科		9

(2) 出願要件

令和6年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和7年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者

(3) 選抜方法等

出願時に提出を求める書類をもとに、第1次選抜及び第2次選抜からなる2段階選抜を実施します。

2段階選抜の実施要件は、志願者数が募集人員の2倍を超えた場合とし、要件を満たさなかった場合は実施しません。

2段階選抜を実施する場合、令和6年9月24日（火）に、第1次選抜合格者に対して結果を通知します。

学部・学科・コース	区 分	内 容	配点	内容及び採点・評価の基準
地域創生学部・地域創生学科 地域文化コース	第1次選抜 【書類審査】	志 望 理 由 書	100	これまでの主体的な学びへの取り組みをふまえ、地域文化コースへの興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意を記載してください。記載内容と記述の論理性・説得力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		活動実績 報 告 書 及 び 調 査 書	100	これまでの主体的な学びへの取り組みについて、活動実績報告書及び調査書を用いて採点します。総合的な探究の時間等において取り組んだ課題研究、国内外での異文化体験や国際交流、委員会・部活動・ボランティア活動、各種コンクールや大会等での活動成果、言語能力、取得資格・検定、それらの成果獲得に向けた努力のプロセス等を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、高等学校における学びの履歴等を調査書で確認します。
				調査書での該当する記載欄
「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。			
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				
第2次選抜	面 接	200	これまでの主体的な学びの成果と入学後の学修計画についてのプレゼンテーション（10分程度）を実施するとともに、プレゼンテーションの内容および地域文化コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から地域文化コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
生物資源科学部・地域資源開発学科	第1次選抜 【書類審査】	志 望 理 由 書	100	学科への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		活動実績 報 告 書 及 び 調 査 書	100	主体性や協働性について、活動実績報告書及び調査書を用いて採点します。総合的な探究の時間等において取り組んだ課題研究、委員会・部活動・ボランティア活動、各種コンクールや大会等での活動成果、言語能力、取得資格・検定、海外での学習成果、それらの成果獲得に向けた努力のプロセス等を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、高等学校における学びの履歴等を調査書で確認します。
				調査書での該当する記載欄
「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。			
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				
第2次選抜	面 接	200	地域課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（10分程度）を実施するとともに、学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点） ※第1次選抜で採点・評価します。
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
第1次選抜及び第2次選抜における得点により合否を判定します。 合格最低点での同点者は、第2次選抜（面接）の得点の高い順に合格とします。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

9 社会人特別選抜

(1) 実施学部・学科・コース及び募集人員等

学 部	学 科	コ ー ス	募集 人員	出願資格等（下記(2)を参照）			
				ア	イ	ウ	エ
地域創生学部	地域創生学科	地 域 文 化 コ ー ス	若干名	●	—	●	—
		地 域 産 業 コ ー ス 経営志向枠、応用情報志 向枠	若干名	●	—	●	—
		健 康 科 学 コ ー ス	若干名	●	—	●	●
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	若干名	●	—	●	—
	生命環境学科	生 命 科 学 コ ー ス	若干名	●	—	●	—
		環 境 科 学 コ ー ス	若干名	●	—	●	—
保健福祉学部	保健福祉学科	看 護 学 コ ー ス	若干名	—	●	●	—
		理 学 療 法 学 コ ー ス	若干名	—	●	●	—
		作 業 療 法 学 コ ー ス	若干名	—	●	●	—
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 障 害 学 コ ー ス	若干名	—	●	●	—
		人 間 福 祉 学 コ ー ス	若干名	—	●	●	—

(2) 出願資格等

出願する者は、学部・学科・コースごとに定める●がついた出願資格等にすべて該当する者としてします。

ア 令和7年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴を有していること。

イ 令和7年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴、若しくはその他の社会的経験を経験を有していること。

なお、その他の社会的経験には、学業及び在学中（休学期間は除く）の経験は含まない。

ウ 次の①～③のいずれかに該当していること。

① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は令和7年3月31日までにこれを卒業する見込みである者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月31日までにこれを修了する見込みである者

③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みである者

エ TOEFL®又はTOEIC®（公開テスト）を令和5（2023）年4月1日以降に受験していること。

(3) 選抜方法

令和7年度大学入学共通テストを免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

(4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学部・学科	コ ー ス	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
地域創生学部 地域創生学科	地 域 文 化 コ ー ス	小 論 文	100	論説・評論等を題材とする問題で、地域文化コースで学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	100	地域文化コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。 ※面接時の参考資料として、過去に受験した TOEIC®等の外国語検定試験のスコアシートを出願書類に添付することを認めます。
	地 域 産 業 コ ー ス 経営志向 枠、応用情 報志向枠	小 論 文	100	論文・評論等を題材とする問題で、経営又は応用情報を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	100	地域産業コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	健 康 科 学 コ ー ス	小 論 文	100	論文や資料・図表等を題材として、「健康科学コースで学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問」と「理科（化学基礎及び生物基礎）の学力を見るための設問」を行い、これらを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	100	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		TOEFL® 又 は TOEIC®	20	TOEFL®又は TOEIC®のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC®のスコアをコースで定める換算式等を用いて20点満点に換算します。

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
生物資源科学部 地域資源開発学科	—	小論文	100	現代社会や自然科学、農業や食品等に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域資源科学において関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
生物資源科学部 生命環境学科	生命科学コース	小論文	100	現代社会や自然科学、生命科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	環境科学コース	小論文	100	現代社会や自然科学、環境科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 保健福祉学科	看護学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	理学療法学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに、理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え、チームで活動できる人材として望まれる態度、表現力、判断力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	作業療法学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力および明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	コミュニケーション障害学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、言語聴覚士についての理解などについて質問します。さらに、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	人間福祉学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、福祉に対する興味、学修意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点对象

募集区分共通

- 主体性・協働性（5点満点）
主体性や協働性について、**自己申告書（提出は任意）**に基づき、最大5点までの範囲で加点します。
- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(5) 合否判定基準

学部	学科	コース	合否判定基準
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		地域産業コース 経営志向枠、応用情報志向枠	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		健康科学コース	小論文、面接及び TOEFL®又は TOEIC®の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
	生命環境学科	生命科学コース 環境科学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。
		理学療法学コース	
		作業療法学コース	
		コミュニケーション障害学コース	
		人間福祉学コース	

(1) 実施学部・学科・コース及び募集人員

学 部	学 科	コ ー ス	募 集 人 員
地域創生学部	地域創生学科	地 域 文 化 コ ー ス	3
		地域産業コース経営志向枠	3
		地域産業コース応用情報志向枠	2
		健 康 科 学 コ ー ス	2
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	2
	生 命 環 境 学 科	生 命 科 学 コ ー ス	2
		環 境 科 学 コ ー ス	2

(2) 出願資格等

出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。

- ア 外国の国籍を有する者で、大学において教育を受ける目的を持って入国している者又は入国しようとする者
- イ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（次のいずれかに該当する者を含みます。）
- ① スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者
 - ② フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者
 - ④ グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル資格）を有する者
 - ⑤ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者及び 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ウ 2024 年度に実施した日本留学試験の各学部・学科等が試験科目等として指定している科目を受験している者
- エ TOEFL®又は TOEIC®（公開テスト）を令和 5 年 4 月 1 日以降に受験していること。

(3) 選抜方法

令和 7 年度大学入学共通テストを免除して、本学が行う試験及び日本留学試験の結果を総合して選抜します。

(4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

【地域創生学部 地域創生学科（試験はオンラインで行います。）】

コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
地域文化コース	面接	250	地域文化コースで学ぶ目的、勉学に対する意欲・志向等について質問し、日本語能力、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。 学修に必要なコミュニケーション能力を重視します。
	日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
	日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。	550	
	総合科目	200	
地域産業コース	TOEFL®又は TOEIC®	50	TOEFL®又は TOEIC®のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC®のスコアをコースで定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。
	面接	200	経営を学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
	日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。	550	
応用情報志向枠	総合科目	200	
	TOEFL®又は TOEIC®	50	TOEFL®又は TOEIC®のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC®のスコアを志向枠で定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。
	面接	200	応用情報分野で学びたいという志望動機・意欲、情報についての関心度などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
地域産業コース	日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450	
	数学（コース 1 又はコース 2） ※数学 200 点満点を 300 点満点に換算します。	300	
	TOEFL®又は TOEIC®	100	TOEFL®又は TOEIC®のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC®のスコアを志向枠で定める換算式等を用いて 100 点満点に換算します。

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

健康科学コース	面接	300	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識及び理科に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】		
	日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450	
	理科（化学、生物）	200	
	TOEFL®又は TOEIC®	100	TOEFL®又は TOEIC®のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC®のスコアをコースで定める換算式等を用いて 100 点満点に換算します。

【生物資源科学部（試験は対面で行います。）】

学科・コース		科目等	配点	内容及び採点・評価の基準	
地域資源開発学科		面接	300	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】			
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。	550		
		理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択）	200		
		数学（コース 2）	200		
		TOEFL®又は TOEIC®	50	TOEFL®又は TOEIC® のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC® のスコアを学部で定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。	
生命環境学科	生命科学コース	面接	300	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
			日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
			日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。		550
			理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択）		200
			数学（コース 2）		200
			TOEFL®又は TOEIC®	50	TOEFL®又は TOEIC® のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC® のスコアを学部で定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。
	環境科学コース	面接	300	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
			日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
			日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。		550
			理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択）		200
			数学（コース 2）		200
			TOEFL®又は TOEIC®	50	TOEFL®又は TOEIC® のスコア証明書に基づき、TOEFL®又は TOEIC® のスコアを学部で定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。

(5) 合否判定基準

学部・学科	コース	合否判定基準
地域創生学部 地域創生学科	地域文化コース	面接の得点と、2024 年度日本留学試験及び TOEFL®又は TOEIC®の得点の合計点を総合的に審査し、合否を判定します。
	地域産業コース 経営志向枠	
	地域産業コース 応用情報志向枠	
	健康科学コース	
生物資源科学部 地域資源開発学科	—	面接の得点と、2024 年度日本留学試験及び TOEFL®又は TOEIC®の得点の合計点を総合的に審査し、合否を判定します。
生物資源科学部 生命環境学科	生命科学コース	
	環境科学コース	

11 身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談

身体等に障害のある入学志願者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願の前に相談してください。

相談内容によっては、対応に時間を要することもあるため、できるだけ早い時期に相談してください。

電話等により、必ず事前に本学へ連絡してください。内容を確認の上で、必要な書類を提出していただきます。

詳細については、各入学選抜の学生募集要項及び県立広島大学ホームページ（下記 URL）も参考にしてください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html>

12 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号（大学による個別の入学資格審査）による出願を希望する者は、各入学選抜の学生募集要項に定める期日までに本部事務部入試・広報課（082-251-9540）まで連絡してください。

13 出願・入学手続

出願・入学手続はインターネットから行います。出願登録及び入学選抜料の支払い完了後、必要書類を印刷等して、とりまとめの上、郵送等により提出していただきます。

※ 詳細については、各入学選抜の学生募集要項を必ず確認の上、出願を行ってください。

14 入試情報（成績）の提供・開示

本学では、入試情報（成績）の提供・開示を行っています。詳細については、各入学選抜の学生募集要項を参照してください。

令和6年度県立広島大学入学者選抜結果

■一般選抜・前期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	①受験者数	②合格者数	入学者数	実質倍率(①/②)
地域創生学部						
地域創生学科						
地域文化コース	36	93	88	44	38	2.0
地域産業コース						
経営志向枠	17	66	66	23	23	2.9
応用情報志向枠	15	46	45	21	20	2.1
健康科学コース	20	68	58	27	27	2.1
計	88	273	257	115	108	2.2
生物資源科学部						
地域資源開発学科	14	52	45	18	15	2.5
生命環境学科						
生命科学コース	23	70	58	35	27	1.7
環境科学コース	23	104	95	37	27	2.6
計	60	226	198	90	69	2.2
保健福祉学部						
保健福祉学科						
看護学コース	31	95	92	37	36	2.5
理学療法学コース	15	69	69	20	19	3.5
作業療法学コース	15	30	29	19	17	1.5
コミュニケーション障害学コース	15	34	34	18	18	1.9
人間福祉学コース	21	37	35	25	25	1.4
コース選択	6	13	13	4	4	3.3
計	103	278	272	123	119	2.2
合 計	251	777	727	328	296	2.2

(注) 「合格者数」及び「実質倍率」は追加合格者を含む。

■一般選抜・後期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	①受験者数	②合格者数	入学者数	実質倍率(①/②)
地域創生学部						
地域創生学科						
地域文化コース	27	310	127	35	32	3.6
地域産業コース						
生物資源科学部						
生命環境学科						
生命科学コース	20	222	62	30	23	2.1
環境科学コース						
保健福祉学部						
保健福祉学科						
看護学コース	6	111	31	9	7	3.4
理学療法学コース	3	74	25	3	3	8.3
作業療法学コース	3	57	13	5	3	2.6
コミュニケーション障害学コース	3	41	13	3	3	4.3
人間福祉学コース	4	37	7	5	4	1.4
計	19	320	89	25	20	3.6
合 計	66	852	278	90	75	3.1

■学校推薦型選抜

学部・学科	募集区分	募集人員	志願者数	①受験者数	②合格者数	入学者数	実質倍率(①/②)
地域創生学部							
地域創生学科							
地域文化コース	一般枠						
	県内高校	8	35	35	9	9	3.9
	県外高校	2	4	4	2	2	2.0
	異文化体験枠						
	県内高校	8	12	12	8	8	1.5
	県外高校	2	2	2	1	1	2.0
地域産業コース							
経営志向枠	県内高校	16	41	41	16	16	2.6
	専門高校	2	3	3	2	2	1.5
	全国高校	4	12	12	4	4	3.0
応用情報志向枠	県内高校	10	19	19	10	10	1.9
	専門高校	1	3	3	2	2	1.5
	全国高校	3	4	4	2	2	2.0
健康科学コース	県内高校	9	35	35	9	9	3.9
	専門高校	2	4	4	1	1	4.0
計		67	174	174	66	66	2.6
生物資源科学部							
地域資源開発学科	県内高校	4	5	5	4	4	1.3
	専門高校(農業)	4	2	2	2	2	1.0
	専門高校(商業・工業)	2	0	0	0	0	—
	全国高校	5	11	11	9	9	1.2
生命環境学科							
生命科学コース	県内高校	6	9	9	7	7	1.3
	専門高校	2	0	0	0	0	—
	全国高校	5	10	10	6	6	1.7
環境科学コース	県内高校	6	7	7	6	6	1.2
	専門高校	2	0	0	0	0	—
	全国高校	5	4	4	4	4	1.0
計		41	48	48	38	38	1.3
保健福祉学部							
保健福祉学科							
看護学コース	県内高校	18	62	62	18	18	3.4
	専門高校	1	0	0	0	0	—
理学療法学コース	県内高校	9	32	32	9	9	3.6
作業療法学コース	県内高校	9	19	19	9	9	2.1
コミュニケーション障害学コース	県内高校	7	14	14	7	7	2.0
	全国高校	2	23	23	2	2	11.5
人間福祉学コース	県内高校	11	29	29	11	11	2.6
	専門高校	1	1	1	1	1	1.0
	全国高校	2	7	7	2	2	3.5
計		60	187	187	59	59	3.2
合 計		168	409	409	163	163	2.5

■総合型選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物資源科学部					
地域資源開発学科	5	21	21	10	10

※受験者数は、第1次選抜の人数

■社会人特別選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域創生学部					
地域創生学科					
地域文化コース	2	1	1	1	1
地域産業コース	4	0	0	0	0
健康科学コース	2	0	0	0	0
計	8	1	1	1	1
生物資源科学部					
地域資源開発学科	2	1	1	1	1
生命環境学科					
生命科学コース	2	0	0	0	0
環境科学コース	2	0	0	0	0
計	6	1	1	1	1
保健福祉学部					
保健福祉学科					
看護学コース	2	0	0	0	0
理学療法学コース	2	1	1	0	0
作業療法学コース	2	0	0	0	0
コミュニケーション障害学コース	2	2	2	0	0
計	8	3	3	0	0
合 計	22	5	5	2	2

■帰国生徒特別選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物資源科学部					
地域資源開発学科	2	1	1	0	0

■外国人留学生特別選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域創生学部					
地域創生学科					
地域文化コース	3	12	10	6	3
地域産業コース					
経営志向枠	3	10	9	2	2
応用情報志向枠	2	2	2	1	1
健康科学コース	2	3	3	0	0
計	10	27	24	9	6
生物資源科学部					
地域資源開発学科	2	0	0	0	0
生命環境学科					
生命科学コース	2	14	12	5	1
環境科学コース	2	6	4	3	3
計	6	20	16	8	4
合 計	16	47	40	17	10

(注) 「合格者数」は追加合格者を含む。

■大学合計

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域創生学部					
地域創生学科					
地域文化コース	165	675	483	189	176
地域産業コース					
健康科学コース	35	110	100	37	37
計	200	785	583	226	213
生物資源科学部					
地域資源開発学科	40	93	86	44	41
生命環境学科					
生命科学コース	100	446	261	133	104
環境科学コース					
計	140	539	347	177	145
保健福祉学部					
保健福祉学科					
看護学コース	58	268	185	64	61
理学療法学コース	29	176	127	32	31
作業療法学コース	29	106	61	33	29
コミュニケーション障害学コース	29	114	86	30	30
人間福祉学コース	39	111	79	44	43
コース選択	6	13	13	4	4
計	190	788	551	207	198
合 計	530	2,112	1,481	610	556

令和6年度県立広島大学一般選抜 合格者得点状況

■一般選抜・前期日程

学部・学科	大学入学共通テスト					総得点(大学入学共通テスト＋個別学力検査)				
	配 点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率	配 点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率
地域創生学部										
地域創生学科										
地域文化コース	700	585.0	448.0	500.2	71.5%	900	750.0	606.0	635.9	70.7%
地域産業コース										
経営志向枠	500	348.7	286.6	318.1	63.6%	800	561.7	484.5	515.9	64.5%
応用情報志向枠	800	528.4	455.0	485.6	60.7%	1,100	778.0	622.0	677.9	61.6%
健康科学コース	800	534.8	439.8	489.3	61.2%	1,000	702.5	600.7	645.2	64.5%
生物資源科学部										
地域資源開発学科	600	343.4	262.6	299.5	49.9%	800	498.2	392.4	420.5	52.6%
生命環境学科										
生命科学コース	900	514.2	424.2	463.6	51.5%	1,200	703.2	595.6	644.9	53.7%
環境科学コース	900	504.2	408.4	447.4	49.7%	1,200	696.2	598.4	629.3	52.4%
保健福祉学部										
保健福祉学科										
看護学コース	800	596.0	477.0	522.8	65.4%	1,000	748.0	658.0	687.0	68.7%
理学療法学コース	800	595.0	512.0	543.5	67.9%	1,000	758.3	689.0	713.7	71.4%
作業療法学コース	800	593.0	424.0	482.8	60.4%	1,000	732.7	570.3	631.3	63.1%
コミュニケーション障害学コース	800	565.0	484.0	522.2	65.3%	1,000	719.3	646.3	674.5	67.4%
人間福祉学コース	600	451.0	295.0	390.5	65.1%	1,000	767.0	621.3	681.8	68.2%
コース選択	800	563.0	462.0	506.3	63.3%	1,000	697.7	647.0	671.0	67.1%

(注1) 本学の配点に加工している。追加合格者は含まない。

(注2) 個別学力検査の得点には、加点了得点を含まない。

■一般選抜・後期日程

学部・学科		大学入学共通テスト					総得点(大学入学共通テスト＋個別学力検査)				
		配 点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率	配 点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率
地域創生学部											
地域創生学科											
地域文化コース	経過	400	313.5	255.0	289.0	72.3%	550	430.0	380.0	402.4	73.2%
地域産業コース	選択										
生物資源科学部											
生命環境学科											
生命科学コース	経過	900	698.4	447.6	526.9	58.5%	1,200	944.4	651.5	722.0	60.2%
環境科学コース	選択										
保健福祉学部											
保健福祉学科											
看護学コース		800	650.0	454.0	531.6	66.5%	1,000	828.7	635.7	698.3	69.8%
理学療法学コース		800	605.0	568.0	588.0	73.5%	1,000	785.0	718.3	741.8	74.2%
作業療法学コース		800	645.0	522.0	560.8	70.1%	1,000	794.0	670.0	702.8	70.3%
コミュニケーション障害学コース		500	360.0	299.0	326.3	65.3%	600	432.0	365.7	401.1	66.9%
人間福祉学コース		600	465.0	305.0	407.2	67.9%	1,000	766.3	608.7	696.4	69.6%

(注1) 本学の配点に加工している。追加合格者は含まない。

(注2) 個別学力検査の得点には、加点了得点を含まない。

合格者得点状況

令和6（2024）年度 外国人留学生特別選抜

学部・学科	日本留学試験					総得点（日本留学試験＋個別学力検査）				
	配点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率	配点	最高点	最低点	平均点	平均点得点率
地域創生学部										
地域創生学科										
地域文化コース	650	567.0	479.0	527.2	81.1%	900	785.0	663.0	730.0	81.1%
地域産業コース										
経営志向枠	750	636.0	556.0	596.0	79.5%	950	756.0	718.0	737.0	77.6%
応用情報志向枠	750	*	*	*	*	950	*	*	*	*
健康科学コース	650					950				
生物資源科学部										
地域資源開発学科	950					1,250				
生命環境学科										
生命科学コース	950	774.0	672.0	720.6	75.9%	1,250	1009.4	876.4	940.7	75.3%
環境科学コース	950	671.0	611.0	637.3	67.1%	1,250	921.0	796.0	865.7	69.3%

※ 日本留学試験の配点は、本学の各学部・学科が定める配点に換算している。

※ *は合格者が1人のため非公表。

※ 健康科学コースは、合格者なし。

※ 地域資源開発学科は、受験者なし。

入学
者選
抜の
特徴

主
な
変
更
点
等

選
抜
日
程
等

ア
ド
ミ
シ
ョ
ン
ポ
リ
シー

一
般
選
抜

学
校
推
薦
型

総
合
型

社
会
人

外
国
人
留
学
生

そ
の
他

入
試
デ
ー
タ

入学試験に関する問い合わせ先

県立広島大学本部事務部入試・広報課

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話番号 (082) 251-9540

メールアドレス puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp